



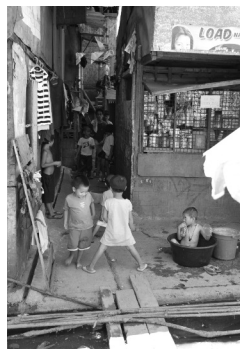
歯科医・彌勒寺寛之の 後悔しない 歯科治療の受け方

第20回 「海外歯科ボランティア ～その3・終～」

こんにちは。土沢デンタルクリニック院長の彌勒寺です。これまで2回にわたりお話しさせていただいたフィリピンでの歯科ボランティア（2月9日～13日）経験談も今回が最終話。治療の合間に見たフィリピン・セブ島の生活事情をお伝えしたいと思います。

<スラム街>

診察2日目の休憩時間にスラム街の中を見てきました。財布や時計など貴重品は全て外し、現地の方の案内のもと散策しました。スラム街の中は細かい住所などはないそうです。



実際見て感じたのは、ここには半端ない超格差社会があるということでした。日本も格差社会と言われていますが、例えば生まれや育ちがよくなかったとしても、鉛筆1本買えないことはなく、努力さえすれば、成り上がって将来見返すチャンスがあると思います。しかし、ここスラムでは生まれた瞬間にほぼ人生が決まっています、それを覆していくのはとてもとても難しいことなのではないかと思えます。新生児の死亡率も高く、またそのお葬式をする費用もないことが多いそうです。写真では伝えきれませんが、臭いもかなり強烈で、色々と考えさせられ複雑な思いを抱きました。

<里親里子交流会>

4日目は現地の里子の子供たちと触れ合うイベントに参加しました。これは、子供たちがこの日のために練習したダンスや歌を披露し、その後一緒

に食事をして遊ぶというもので、子供たちとの交流はとても心温まるものでした。診察・治療で疲れた気持ちが癒されました。



<Are you pure Japanese?～フィリピンとのハーフじゃないの?>

現地の人に一番多く聞かれたことが「あなた純日本人? 本当? フィリピンとのハーフじゃなくて?」でした。フィリピン人としてならイケメンだそうです(笑)。



この看板の人に似ているらしい

それ以外の現地での生活では、言葉（英語）が通じないときはちょっと不便でしたが、ほかに特別に困ることもなく、強いていうなら最終日の飛行機移動が朝4時半起床だったので、ほぼ仮眠状態だったことがかなり大変でした。

<終わりに>

今回このような貴重な経験の場を提供していただいた海外歯科ボランティア団体KADVOの皆様、そしていつも土沢デンタルクリニックに来院して下さる患者様、一緒に働いて院長を理解しつつきてくれるスタッフのみんな、支えてくれる妻に深く感謝しています。ありがとうございました。



参加証明書



～著者プロフィール～

土沢デンタルクリニック院長 彌勒寺 寛之（みろくじ ひろゆき）1979年東京生まれ
住所 宇都宮市本丸町11-12 TEL 028-634-5141 (URL) <http://tda86.com>
所属学会

日本口腔インプラント学会 日本歯科審美学会 日本歯周病学会
日本小児歯科学会 日本ヘルスケア歯科研究会

※学会で得た知識を活かして、個人的に無料相談室を開設しました。

お口のことで疑問に思っていることなどがありましたら、お気軽にご相談下さい。当クリニックのホームページからメールで受け付けています。

（この無料相談室は予告なく終了することがありますので、ご了承下さい。）

